

まつど議会だより

発行／松戸市議会
編集／広報委員会
千葉県松戸市根本387-5
TEL 047(366)7382



松戸市議会の情報はホームページからもご覧いただけます。(https://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html) 右のQRコードもご利用ください。

松戸市・ホワイトホース市

姉妹都市交流

松戸市とオーストラリアのホワイトホース市が姉妹都市になって50年がたちました。大切に育ててきた50年の友好を、未来へとつなげます！



市役所正面玄関前の花壇



市議会トピックス

- 令和3年度松戸市一般会計予算を修正
※詳細は3面に記載しています。
- 新焼却施設建設に関する決議を可決

新焼却施設建設に関する決議

令和3年度一般会計歳入歳出予算において、計画上予定されていた新焼却施設建設関係経費の計上がなく、これについて執行部から、ごみ処理の広域化及び施設の集約化を検討するために検討期間を設けて稼働時期を延期させるという説明がなされた。

新焼却施設建設によるごみの処理の確実な履行は、市民生活における最重要事項であり、欠くことのできない行政サービスである。

平成31年3月定例会の予算審査特別委員会において市長から示された見解でも、本市が優先的に取り組む3事業の一つとしてこの新焼却施設建設が位置付けられており、計画に基づいて着実に事業が進められることを共通認識としていたが、広域化という新たな課題への取り組みとそれに伴う事業期間の延長は、その共通認識を超える方針転換とも取り得るものである。

本市は、和名ヶ谷クリーンセンターとクリーンセンター2施設体制から、1施設体制へと焼却施設の集約化を進めている最中である。さらに現状ではクリーンセンターの稼働停止により、新焼却施設が稼働するまでの間、本市の燃やせるごみの処理の一部を近隣市にご協力いただき処理をお願いしており、早急に新焼却施設建設を進める必要がある。

先の教育環境常任委員会において、市長はこの問題に対して「市民の生活を守っていくことが一番大事な原点であり、スピード感をもって新焼却施設整備基本構想を取りまとめるなど、早急に整備を進める」との認識を示された。

従って、執行部においては、本市のごみの適正処理について、早期に新焼却施設整備基本構想を取りまとめ、着実に事業を推進することを求めここに決議する。

千葉県松戸市議会

ホワイトホース市は、オーストラリア南東のビクトリア州の都市。州都メルボルンから15km東に位置していて、東京からアクセスしやすい松戸市とよく似た立地です。市の面積は松戸市とほぼ同じ64km²。人口は約17.8万人、松戸市の約1/3です。

- 問い合わせ先
姉妹都市交流50周年記念事業実行委員会事務局
(文化観光国際課内)
TEL 047(366)7327



姉妹都市50周年
紹介ページ

3月定例会

令和3年3月定例会を2月22日から3月23日まで開催しました。今定例会では、市長・教育長の施政方針等に対する各会派の代表質問を行いました。

初日には、市長から提出された専決処分1件の報告を承認し、教育委員会教育長の任命議案1件、教育委員会委員の任命議案1件、人権擁護委員候補者の推薦議案2件それぞれに同意しました。

このほか2年度補正予算案9件を可決し、一般議案1件に同意しました。

また市長から提出された3年度予算に関する議案11件や、条例などの一般議案13件、市民の方等から提出された陳情2件を、それぞれの委員会において審査しました。

3年度一般会計予算を審査する過程では、市長の提案する「庁舎管理事業」について、一部の予算措置理由が認め難いとして委員から修正案が提出され、審査の結果、修正案を可決しました。

最終日には、これらの案件のほかに市長から追加議案が提出され、2年度補正予算案1件を可決し、固定資産評価員の選任議案1件に同意しました。また議員提出議案2件を上程し、採決しました。

(2面に審議結果、3面に予算審査の主な質疑、4面に討論を掲載)

新型コロナウイルス感染症拡大防止への取り組み

3月定例会においても、引き続き、換気、消毒の徹底等とともに、下記のとおり感染拡大防止策を図りました。

- 本会議では採決時を除き、議員は定足数に配慮し半分ずつ交代で出席し、執行部の出席者数にも配慮をお願いしました。
- 会派代表質問および個人質問は発言時間を通常の半分に短縮しました。議案質疑は質疑時間を通常30分から10分に短縮し、予算討論は通常割り当てられた時間の83%に短縮しました。

3 月 定 例 会 審 議 結 果

番号	件 名	付託先 委員会	本会議 の結果	採決	番号	件 名	付託先 委員会	本会議 の結果	採決
市長提出議案					議員提出議案				
第59号	専決処分の報告及び承認(令和2年度松戸市一般会計補正予算(第12回))	—	承認	全会一致	第25号	松戸市議会会議規則の一部を改正する規則の制定	—	可決	全会一致
第60号	令和2年度松戸市一般会計補正予算(第13回)	総務 財務	可決	多数意見	第26号	新焼却施設建設に関する決議	—	可決	多数意見
第61号	令和2年度松戸市国民健康保険特別会計補正予算(第3回)	健康 福祉	可決	多数意見	陳情				
第62号	令和2年度松戸市松戸競輪特別会計補正予算(第1回)	建設 経済	可決	多数意見	第5号	「医療・介護体制、公衆衛生行政や検査・検疫体制等の強化・拡充を求める意見書」の提出を求める陳情	健康 福祉	不採択	多数意見
第63号	令和2年度松戸市駐車場事業特別会計補正予算(第2回)	建設 経済	可決	全会一致	第6号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の提出を求める陳情	建設 経済	不採択	多数意見
第64号	令和2年度松戸市介護保険特別会計補正予算(第2回)	健康 福祉	可決	多数意見	予算審査特別委員会 令和3年度松戸市一般会計予算修正案 令和3年度松戸市一般会計予算修正議決した部分を除く原案 令和3年度松戸市国民健康保険特別会計予算 令和3年度松戸市松戸競輪特別会計予算 令和3年度松戸市公設地方卸売市場事業特別会計予算 令和3年度松戸市駐車場事業特別会計予算 令和3年度松戸市介護保険特別会計予算 令和3年度松戸市後期高齢者医療特別会計予算 令和3年度松戸市松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計予算 令和3年度松戸市水道事業会計予算 令和3年度松戸市病院事業会計予算 令和3年度松戸市下水道事業会計予算				
第65号	令和2年度松戸市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)	健康 福祉	可決	多数意見					
第66号	令和2年度松戸市松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第1回)	建設 経済	可決	多数意見					
第67号	令和2年度松戸市病院事業会計補正予算(第4回)	健康 福祉	可決	全会一致					
第68号	令和2年度松戸市下水道事業会計補正予算(第1回)	建設 経済	可決	全会一致					
第69号	令和3年度松戸市一般会計予算修正案	—	可決	多数意見					
第69号	令和3年度松戸市一般会計予算修正議決した部分を除く原案	—	可決	多数意見					
第70号	令和3年度松戸市国民健康保険特別会計予算	—	可決	多数意見					
第71号	令和3年度松戸市松戸競輪特別会計予算	—	可決	多数意見					
第72号	令和3年度松戸市公設地方卸売市場事業特別会計予算	—	可決	全会一致					
第73号	令和3年度松戸市駐車場事業特別会計予算	—	可決	全会一致					
第74号	令和3年度松戸市介護保険特別会計予算	—	可決	多数意見					
第75号	令和3年度松戸市後期高齢者医療特別会計予算	—	可決	多数意見					
第76号	令和3年度松戸市松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計予算	—	可決	多数意見					
第77号	令和3年度松戸市水道事業会計予算	—	可決	全会一致					
第78号	令和3年度松戸市病院事業会計予算	—	可決	全会一致					
第79号	令和3年度松戸市下水道事業会計予算	—	可決	全会一致					
第80号	松戸市2020年東京オリンピック・パラリンピックやさシティおもてなシティ推進会議条例の一部を改正する条例の制定	総務 財務	可決	全会一致					
第81号	松戸市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例の制定	健康 福祉	可決	多数意見					
第82号	松戸市女性センター条例の一部を改正する条例の制定	総務 財務	可決	全会一致					
第83号	松戸市職員の配偶者同行休業に関する条例の制定	総務 財務	可決	全会一致					
第84号	松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定	建設 経済	可決	全会一致					
第85号	松戸市福祉有償運送運営協議会条例の一部を改正する条例の制定	健康 福祉	可決	全会一致					
第86号	松戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定	健康 福祉	可決	全会一致					
第87号	松戸市介護保険条例の一部を改正する条例の制定	健康 福祉	可決	多数意見					
第88号	松戸市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	健康 福祉	可決	多数意見					
第89号	松戸市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定	健康 福祉	可決	多数意見					
第90号	松戸市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定	健康 福祉	可決	多数意見					
第91号	松戸市法定外公共物の管理に関する条例の制定	建設 経済	可決	全会一致					
第92号	松戸市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定	健康 福祉	可決	全会一致					
第93号	教育委員会教育長の任命(伊藤純一氏)	—	同意	多数意見					
第94号	教育委員会委員の任命(中西茂氏)	—	同意	全会一致					
第95号	人権擁護委員候補者の推薦(森めぐみ氏)	—	同意	全会一致					
第96号	人権擁護委員候補者の推薦(藪田京子氏)	—	同意	全会一致					
第97号	控訴の提起	—	同意	全会一致					
第98号	令和2年度松戸市一般会計補正予算(第14回)	総務 財務	可決	全会一致					
第99号	固定資産評価員の選任(大塚滋氏)	—	同意	全会一致					

議会運営委員会

委員の変更がありました。

- ◎ 杉山由祥 ○ 諸角由美
- 増田 薫 ○ 大谷茂範
- 高橋伸之 ○ 鈴木大介※
- 山中啓之 ○ 渋谷剛士
- 宇津野史行 ○ 二階堂 剛
- 城所正美 ○ 末松裕人

◎ 委員長 ○ 副委員長
※ 変更があった委員 (令和3年3月24日現在)

予算審査特別委員会委員

- ◎ 飯箸公明 ○ 大橋博
- 中西香澄 ○ 鷹野聡
- 中村典子 ○ 戸張友子
- DELI ○ 篠田哲弥
- 伊東英一 ○ 市川恵一
- 山口栄作 ○ 杉山由祥
- 宇津野史行

◎ 委員長 ○ 副委員長

会派別一覧

会派構成に変更がありました。松戸市議会では、3人以上で構成する団体を会派としています。

公明党 10人 ◎ 城所正美 ○ 諸角由美 篠田哲弥 鈴木智明 松尾尚 岩瀬麻理 高橋伸之 伊東英一 飯箸公明 織原正幸	松政クラブ 8人 ◎ 大谷茂範※ ○ 大塚健児※ 鷹野聡 石井勇 杉山由祥 木村みね子 田居照康 小沢暁民	市民クラブ 7人 ◎ 末松裕人 ○ 市川恵一 渋谷剛士 岩堀研嗣 山口栄作 深山能一 中川英孝	日本共産党 4人 ◎ 宇津野史行 ○ 平田きよみ ミール計恵 山口正子
立憲民主党 4人 ◎ 二階堂 剛 ○ 関根ジロー 成島良太 戸張友子	まつど未来クラブ※ 4人 ◎ 大橋博※ ○ 鈴木大介※ 中村典子※ 桜井秀三※	政策実現フォーラム 3人 ◎ 増田 薫 ○ 原 裕二 DELI	市民力・立憲民主党 3人 ◎ 山中啓之 ○ 岡本優子 中西香澄
無所属 箕輪信矢			
議員定数 44人 ◎ 幹事長 ○ 副幹事長 ※ 新たな会派・幹事長・副幹事長、変更があった議員			

(令和3年3月25日現在)

令和3年度当初予算

会計名	予算額
総務費	127億4,487万1千円
民生費	835億8,959万6千円
衛生費	209億7,681万2千円
労働・農林水産業費	4億4,885万9千円
商工費	9億7,009万2千円
土木費	142億8,045万7千円
消防費	62億8,369万4千円
教育費	140億5,218万6千円
その他	133億6,343万3千円
計	1,667億1,000万円
国民健康保険	427億2,313万2千円
松戸競輪	193億7,247万5千円
公設地方卸売市場事業	1億1,649万9千円
駐車場事業	1億5,900万2千円
介護保険	379億1,043万9千円
後期高齢者医療	67億 972万6千円
新松戸駅東側地区 土地区画整理事業	10億 414万2千円
計	1,079億9,541万5千円
水道事業	23億7,313万円
病院事業	282億2,488万4千円
下水道事業	201億6,147万6千円
計	507億5,949万円
合計	3,254億6,490万5千円

予算規模は、前年度比 75億317万3千円 2.4%増

予算審査特別委員会の審査から

令和3年度予算(11会計)を可決

(名簿は2面に掲載)

予算審査のあらまし



一般会計予算の修正案を可決しました

一般会計予算の審査の過程において、

- ・市役所機能再編整備基本計画策定業務委託
- ・バーチャル松戸市構築設計委託
- ・習い事送迎支援
- ・まちづくり基本構想推進業務
- ・松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計繰出金を削除する修正案と
- ・市役所機能再編整備基本計画策定業務委託のみを削除する修正案が提出されました。

採決の結果、多数意見をもって両修正案の共通する部分である市役所機能再編整備基本計画策定業務委託 3,000 万円を削除する修正案を可決しました。

可決した修正案の提案理由

- ・大型事業の優先順位やスケジュール、事業費の総額、財源等が示されず、今この事業を進めるべきかを判断する材料が乏しく認めがたい。
- ・庁舎の建て替えについて、立地は決定しておらず、あくまでも市役所機能についての基本計画策定とする一方で相模台地区が前提とのかたくな姿勢が感じられた。庁舎の建て替え問題はこれまでも議会において議論してきたが、審議を尽くしたというところまでは至っていない。

総務費

バーチャル松戸市構築設計委託の内容と本事業を実施しなければならぬ理由を伺う。

市役所に来なくても手続き等がスマートフォン等で完結できることを目指す。認証方法等が異なるにわがりにくい電子申請システムや機能を統合し、外部から簡単に手続き等ができる第2の松戸市役所実現のため、ランドデザイン策定や課題抽出等を行う。

市役所機能再編整備基本計画策定業務委託において新庁舎の立地は、相模台地区の新拠点ゾーンを前提とするのではなく、これから議論していく事項であるとの認識でよい。

本事業では市役所に必要となる機能、機能の配置、施設規模、事業手法、スケジュール等を検討する。このうち市役所に必要となる機能と機能の配置は、立地に関わらず委託の成果の活用が可能だが、新拠点ゾーンが最適であるという考えの下で委託していきたい。

多世代まるごと居場所づくり業務の内容と担い手確保などの課題をどう考えるか伺う。

多世代が活用できる居場所を地域につくるにあたり全体会や実行委員会を設置し、住民と情報共有し合意を図る場とする。町会・自治会連合会、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、NPO協議会等に参加していただき行政も含め検討していく。庁内にも検討推進会議を設置し、情報共有し検討を進める。要の担い手は、ま

民生費

習い事送迎支援について、放課後児童クラブの児童が習い事へ通うための支援とのことだが、ニーズや要望があったのか。また今実施する理由は。

クラブを巡回した際、共働きの世帯の児童が塾に通うことができない理由として、塾の後にクラブに戻ってくるのができないという現場の声を直接聞いたことで、本支援を導入するに至った。

習い事送迎支援をモデル事業として無料で行うとのことだが、利用料を設定した上でその需要を見極めることも重要だと考える。そこで無料で行うことで何を検討するのか見解を伺う。

料金体系についてはもちろんだが、どのような習い事に対応できるか、また何人ぐらゐの児童が利用するのか等も検討していく。

新型コロナウイルスワクチン予防接種の具体的な実施方法は、多くの市民が接種できる集団接種と、安心感の観点から地域の身近なかかりつけ医で接種できる個別接種で実施する。

集団接種会場については、キテミテマツド、和名ヶ谷スポーツセンター、松戸運動公園、全市立小学校体育館で実施する。そのうち小学校体育館は毎週日曜日に15校で実施する。割り振りについては全45校を近隣3校ずつ15地区にわけ、その3校をA、B、Cに割り振り、毎週1グループごとに実施し、3週間で1巡する体制をとる。

土木費

新拠点ゾーンにおける土地区画整理事業実施のメリットと令和3年度に実施する理由を伺う。

事業の実施により、道路の勾配改善、自転車通行空間の確保、相互通行化等、安全性が増す。さらに公共施設と宅地の総合的一体的整備が可能であり、地権者から提供された土地を道路や公園などの公共施設に整備する他、土地の区画を整えることで宅地の利用価値が向上する。また保留地を施行者の本市が取得でき、優位性の高い事業であると考ええる。

なお本市が新拠点ゾーンにおける国有地の取得要望意思を示してから既に6年が経過しており、本事業の歩みを止めた場合に国との信頼関係を損なう恐れがあり、計画的に進めていきたい。

令和2年度は、市内小学校45校の5・6年生へ5教科、市内中学校の研究指定校2校へ5教科、また市内中学校全校へ外国語の指導用デジタル教科書を導入し、活用している。職員対象のアンケートでは、活用頻度が非常に高く、児童生徒からも、音声や動画等を活用することにより授業がわかりやすくなった等の声があった。また授業準備にかかる時間が短縮され、業務改善だけでなく、児童生徒と接する時間をより確保できることも考えられる。3年度は、市内中学校全校へ5教科の指導用デジタル教科書を整備し、児童生徒の興味関心を高め、学力向上につながるよう研修、研究していく。

市内中学校全校へ5教科の指導用デジタル教科書を整備し、児童生徒の興味関心を高め、学力向上につながるよう研修、研究していく。

松戸都市計画事業 新松戸駅東側地区土地区画整理事業

令和3年度の土地区画整理事業の業務スケジュールを伺う。

まず換地設計などの業務として仮申し出結果に伴う換地設計の修正や事業計画の変更などを考えている。さらに補償費算出のために必要な調査が完了していない物件について、物件補償調査を実施する予定である。また保留床取得事業者の選考に関して、募集要項や協定案などの作成・修正業務および立地換地保留床部分取得事業者選考委員会の対応などに係る運営支援等の業務委託を考えている。他に区域内用地購入関連業務の測量や、不動産鑑定評価業務については、地権者からの売却希望時期に応じて適宜行っていく。

令和2年11月臨時会において全自動PCR検査装置の追加購入が承認され、3年4月から導入されると思うが、どのように活用するのか見解を伺う。

市立総合医療センターでは2年8月に1台目の全自動PCR検査装置を設置し、3年3月には2台目が設置され、4月から運用を開始する予定である。当該検査装置はこれまで主に手術前の患者の検査実施に使用していたが、増設に伴い院内感染を起ささない対策の新たな一つとして、今後は入院患者全員に範囲を広げて検査するなどの運用を考えている。いずれにしても、当医療センターの検査装置を有効に活用し、引き続き新型コロナウイルス感染症に対応していく。

教育費

病院事業

予算討論

令和3年度予算案について、7人の議員が定例会最終日に討論を行いました。

ここでは、会派の討論を掲載します。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、討論時間を通常割り当てられた時間の83%に短縮することを議会運営委員会で決定しました。

割り当てられた討論時間に応じた紙面配分で掲載しています。

松政クラブ

令和3年度一般会計の修正案ならびに修正案を除く原案、各特別会計および各企業会計に賛成する。

一般会計の修正案については、予算審査特別委員会において、市役所機能再編整備基本計画策定業務委託を削除する修正案を提出した。本事業は、新拠点ゾーン整備を前提としていることが示唆されているが、市庁舎建て替えにおいて優先すべきは、最短の期間で、耐震性に問題のない建物により、来庁者や職員の安全を確保することである。新拠点ゾーンに移転することを前提条件とした場合には、新拠点ゾーン整備が完了するまで、耐震性に問題のある現市庁舎を使用せざるを得ない。新拠点ゾーン整備を否定するものではないが、優先順位を考えた場合、新拠点ゾーン整備という手段を優先するため、市庁舎建て替えが遅れてしまうことは本末転倒である。また平成31年3月の予算審査特別委員会において、市長と議会との間で合意している大型事業は、市庁舎建て替え、新松戸駅東側地区土地区画整理、新焼却施設建設の3事業である。市庁舎建て替えは、新拠点ゾーン整備と切り離すべきであり、新拠点ゾーン

整備を前提とする市役所機能再編整備基本計画策定業務委託については、認めがたいため、修正案に賛成する。

修正案を除く原案では、新拠点ゾーン整備自体については、長期の財政見通しに照らして負担に耐えうるものであり、市長が明言した3つの大型事業を優先させる限りは否定するものではない。修正案により市庁舎建て替えと新拠点ゾーン整備が切り離されるのであれば、新拠点ゾーン整備関連予算は、実施のための予算ではなく、調査段階の費用であるため、実施を判断するために議論を重ねる時間をつくることも可能と考える。またその他事業では、習い事送迎支援、新焼却施設建設、さらに東松戸病院の経営の在り方の最終的な結論が出ていない中での出資金の審査において、審査の俎上に載せるまでのプロセスに疑問が生じる事例が多々見られた。何より次期総合計画が上来上がっていない等、問題が見えながら、予算執行の状況を見ながら、今後も議論を重ねるという前提で賛成する。

公明党

令和3年度一般会計の修正案に反対し、修正案を除く原案、各特別会計および各企業会計に賛成する。

一般会計予算への賛成理由は4点あり、1点目として、新型コロナウイルス感染症対策としてワクチン接種関係経費が盛り込まれ、また課題のワクチン接種記録システムが本市でも対応可能とのことと評価する。さらに小学校体育館での集団接種に係る諸課題を解決し、予防接種の安全かつ着実な実施を期待する。

2点目として、賑わいのある街の創出に努力されていることである。市役所庁舎移転建て替えを含む新拠点ゾーンの整備こそが、松戸駅周辺の賑わいを取り戻し本市の魅力を高める起爆剤となり、市税収入増に貢献するものと確信している。3点目として、重層的支援体制整備の構築を評価する。オール松戸で多世代まごころ居場所づくりを進める他、ひきこ

もりにも対応した包括的な相談体制として市内3カ所に相談窓口を設け、高齢者や母子を一体的に支援し一貫した伴走型支援が可能となり、従前の制度ではこぼれ落ちてしまう方の支援体制が確立されるため、それぞれに評価し期待する。

4点目として、教育施策において「学びの松戸モデル」が示され現在の課題と2030年に向けた展望が計画として体系的にまとめられたことを評価する。この内容に基づいた予算が編成されており、着実に実施されることを要望する。

次に一般会計の修正案は、市役所機能再編整備基本計画策定業務委託の予算削減提案であり、市役所が抱える課題等を整理し、市民アンケートや市民ワークショップにより基本計画を策定するもので「市民に耳を傾けようとしている」予算の削除は理解ができない。また現市役所庁舎は災害対応拠点の役割が果たせず、一日でも早い移転建て替え場所の決定や、新市役所庁舎建設の歩みを着実に推進すべきであり、修正案に強く反対する。

市民クラブ

令和3年度一般会計の修正案ならびに修正案を除く原案、各特別会計および各企業会計に賛成する。

新年度予算は、本来であれば既にあるはずの次期松戸市総合計画や都市計画マスタープラン等の策定がなされておらず、今後の本市のあるべき姿やまちづくりの指針が示されない中、市長が目指す本市成長のための施策展開について、場当たり的なことなると持続発展していく道筋をどうつけているのか、財政状況を認識した上で予算にどう反映しているのかに着目し審査に臨んだ。

総務費では、市役所機能再編整備基本計画策定業務委託3千万円を削除する修正案に賛成する。理由として、将来見込まれる市役所機能を検討整理するための市民アンケート等を実施しながら、今後進める新庁舎建設に活用することだが、新拠点ゾーンへの庁舎移転ありきの

委託ではないかという疑念は払拭できなかったことから、庁舎建て替え関連の予算については認め難いと判断した。

民生費では、子育て世帯の経済的負担軽減や安全性確保のための電動アシスト付自転車等購入費補助については、上限5万円の金額設定に全く合理的な根拠がなく、既に購入済みである子育て世帯は対象外など不公平感があり、看過できない。また経済的負担軽減のために補助することだが、明確な基準がない点に危惧を抱く。

日本共産党

令和3年度一般会計の修正案ならびに修正案を除く原案、国民健康保険、競輪介護保険、後期高齢者医療、松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計に反対し、その他の特別会計および各企業会計に賛成する。

一般会計では新拠点ゾーンへの市庁舎移転について、市民の意向をまるで聞こうとしないかたくな姿勢は異常である。大型事業の全体見直しも示されず、財政見通しの信びよう性も揺らぐ事態である。市長が進めたい事業にはお金が生まれ、それ以外の事業の財政は枯渇する。こんな勝手な話はない。

民生費では「共働子育て支援日本一」の獲得・維持が目的化したような施策が次々出される一方、一番のウリである保育施策は早さ・安さ・数の確保が最優先で、子どもの健やかな育ちとその環境づくりより日本一のための数の積み上げと見栄えを意識した施策であると指摘する。教育費では、GIGAスクールなどのICT化に毎年3億5千万円もかかり続ける一方、松飛台第二小学校等の壊れたプールはそのままである。莫大な費用がかかる大型事業のスタートを切り「共働

子育て支援日本一」のブランド化にのみ執念を燃やす問題だらけの予算であると指摘し反対する。

立憲民主党

令和3年度松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計に反対し、一般会計の修正案ならびに修正案を除く原案、その他特別会計および各企業会計に賛成する。

一般会計では、総合計画や公共施設再編整備における個別施設計画の策定が遅れる中、これらの計画の下に行くべき大型事業が先行して行われようとしている。コロナ禍の影響で市財政の厳しい現状にもかかわらず、事業費の総額や財源など詳細を明らかにしないまま大型事業を進めることは問題だと指摘せざるを得ない。一方で市民生活に不可欠な新焼却施設建設を理解しがたい理由により後回しにする姿勢も大問題である。将来を見通し大型事業の中でも優先順位をつけ、一部の事業の凍結も含め改めて検討すべきとし、予算審査特別委員会では市役所機能再編整備基本計画策定業務委託、バーチャル松戸市構築設計委託、習い事送迎支援、まちづくり基本構想推進業務、新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計繰出金を削除する修正案を提出した。市役所機能再編整備基本計画策定業務委託以外の削除は否決されたが、修正部分を除く一般会計予算には、多くの市民が待ち望む新型コロナウイルスワクチン予防接種業務を含むため苦渋の決断で賛成する。

政策実現フォーラム

令和3年度松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計に反対し、一般会計の修正案ならびに修正案を除く原案、その他特別会計および各企業会計に賛成する。

本市のプライマリーバランスはマイナスであり、コロナ禍によりさらに厳しい財政状況が継続すると考えられるため、歳出にはより慎重な判断が必要と考える。

一般会計では、市役所機能再編整備基本計画策定業務委託、バーチャル松戸市構築設計委託、習い事送迎支援、まちづくり基本構想推進業務、新松戸駅東側地区土地画整理事業特別会計繰出金を削除する修正案を提出したが、市役所機能再編整備基本計画策定業務委託以外の削除は否決された。事業の優先順位の考え方等問題はあるが、新型コロナウイルスワクチン予防接種業務等必要な予算が多く含まれるため、修正案ならびに修正案を除く原案を総合的に勘案し、賛成する。

新松戸駅東側地区土地画整理事業特別会計では、事業の内容や進め方に疑念が拭えないことや、大型事業の優先順位がわからない中では、行うべきか否かの判断ができないと考え、反対する。

市民力・立憲民主党

令和3年度一般会計の修正案ならびに修正案を除く原案、松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地画整理事業特別会計に反対し、その他の特別会計および各企業会計に賛成する。

各予算案について、立案プロセスの明確化・市民参加および意見の反映・的確な成果指標の設定を主眼として見てきた。

特に一般会計は、市役所機能再編整備基本計画策定業務委託・まちづくり基本構想推進業務・松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地画整理事業特別会計繰出金に大きな問題と課題を抱えた事業が山積され反対する。さらに修正案について、市役所機能再編整備基本計画策定業務委託は問題を抱えており、市役所機能再編整備基本構想(案)のパブリックコメントへの回答が未公表の状況で関連予算の審議は適切でない。また新拠点ゾーンへの市役所移転ありきではなく市民参加のプロジェクトにより市役所機能の建て替え内容と場所を決定すべきであり、市民参加プロジェクト運営補助を含む委託料の全額削除には反対する。

この他、公平性また費用対効果が認められない事業があり反対する。

委員会の審査から

2月24日・3月5日・8日・11日に各常任委員会を開催し、提出された議案等について審査しました。

ここではその審査の中での主な質疑・答弁(要点)を掲載します。

(審議結果は2面に掲載)

※なお2月24日・3月9日に開催した、教育環境常任委員会では、議案等の審査がありませんでした。

総務財務常任委員会

議案第60号 令和2年度松戸市一般会計補正予算(第13回)

問 がん検診事業について各検診業務が減額した影響をどのように考えるか伺う。

答 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の実施や受診控え等の要因により受診者数の減少が見込まれる。早期発見の機会を逃すと、治療の遅れや治療期間の長期化により患者のQOL(生活の質)の著しい低下も懸念されるため、着実な受診が重要と考える。

問 GIGAスクール構想に伴い配置するICT支援員は、文部科学省の目標水準より少ない4人で足りるのか。また令和3年4月から始まるタブレット活用等への支援は。

答 4人の巡回で先生への支援を行うとともに、ヘルプデスクを設置し対応する予定である。タブレットを先行して導入した検証校で多くの活動が検証され、各学校へ提供されており、スタート時に支障はないと考える。

議案第82号 松戸市女性センター条例の一部を改正する条例の制定について

問 男女共同参画の推進のため、次期総合計画に数値目標を設定するなどの仕組みづくりを行う考えについて伺う。

答 次期総合計画へこれまで以上に記載し、令和4年度に策定する男女共同参画プランとともに、しっかりと進めていきたい。

健康福祉常任委員会

議案第61号 令和2年度松戸市国民健康保険特別会計補正予算(第3回)

問 税制改正に伴うシステム改修について、マイナンバーカードを健康保険証として利用できることとの関連性や成果について伺う。

答 令和3年3月からマイナンバーカードの健康保険証利用が開始となるが、本システム改修には含まれていない。成果としては、保険資格の適正化が図れることや高額療養費の手続きが軽減されること、また薬剤情報や健診情報取得できることにより適正な医療を受けることができるなどがあげられる。

議案第92号 松戸市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 市立総合医療センターの内科の診療科目を内科、糖尿病・代謝・内分泌科、リウマチ科、アレルギー科、感染症内科の5つの診療科に改めるとのことだが、診療側の体制に変更はあるか。また診療時間の増加など患者側への影響について伺う。

答 市立総合医療センターの内科診療は非常に専門性が高い上に医療の領域が広く、現状、内科医師の専門分野ごとに担当分けをして診療体制を組んでいることから、実質的な診療体制に変化はない。また患者側にとっても、診療時間の増加を含めて特別な影響はないと認識している。

建設経済常任委員会

議案第66号 令和2年度松戸市松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地画整理事業特別会計補正予算(第1回)

問 用地購入費が減額となった理由を伺う。

答 令和2年度において、当初6件の用地買収を予定していたが、交渉過程において売却の意向を示した地権者が売却に至らず4件となったため、2件分の減額を措置するものである。

問 用地購入に伴う物件補償費が増額となった理由を伺う。

答 当初予算額は、要求時に登記簿の状況等を基に外観目視により算出しているが、その後地権者の了承を得て現地調査を

実施した結果、補償額に影響のある建物の仕様や庭木等が確認されたため、増額となった。

議案第91号 松戸市法定外公共物の管理に関する条例の制定について

問 本条例が制定されることで、里道や水路の不法占用等に対して今後市はどのように対応していくことになるのか伺う。

答 市が管理する里道や水路の不法占用等に対し、従前は、お願いの範囲として要綱に基づいた指導による対応であった。しかし近年、悪質な不法占用等が見受けられ、要綱による指導では対応しきれないことから、適正管理を実現するために条例を制定することで、禁止行為が明文化される他、監督処分等が可能となる。

一般質問

3月2日・3日にわたり、市長・教育長の施政方針等の内容を中心に市政に関する一般質問を行い、7会派が代表質問を、会派に属さない議員1人が個人質問を行いました。その中から主な質問と答弁の内容をお知らせします。代表質問は、会派の構成人数により決まる発言時間に応じた紙面配分で掲載しています。

一般質問の発言時間の短縮について

今定例会においても、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般質問の発言時間を通常の半分に短縮することを議会運営委員会で決定しました。

松政クラブ

石井 勇

財政の見通しについて

問 今後10年単位で継続する大型事業の是非を判断するためには、市税収入の見通しが必要である。総合計画の策定が遅れ、人口推計などの前提が固まっていないと思われるが、令和4年度以降の市税収入の試算について見通しを伺う。

答 本市の市税収入の約9割を占める基幹税目である市民税と固定資産税・都市計画税について、平成23年度から令和元年度までの決算額の推移では、約34億8千万円、率にして5・2%の伸びを示しており堅調に推移している。市税収入の今後の見通しについては、3年度予算において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により市税全体として3・9%の減収を見込んだが、ワクチン接種など、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていく中で、持ち直しの動きが続くと期待されている。社会情勢のほか、今後の税制改正の動向など不透明な面があるが、堅調に推移していくものと考えている。持続可能な財政運営を確立するため、人口維持、市税収入の確保を目指した各種施策への取り組みを継続することで市税収入の安定確保に努めていきたい。

総合計画策定の遅延理由と対応策について

問 総合計画は、事業計画の前提条件が数多く盛り込まれ、計画行政の根幹となる最上位に位置する総合的かつ包括的な計画である。総合計画の策定が令和3年度にずれ込んだ理由と、対応策を伺う。

答 総合計画の策定が3年度となった理由は二つあり、一つ目はさまざまな市民ニーズの整理と庁内での情報共有、計画の骨格づくりに反映させることに多く

の時間を費やし、取りまとめの時間管理がうまくできなかったことなどマネジメントに起因するものである。二つ目は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行による事業の優先順位を鑑み、さらに本市を取り巻く社会経済環境が大きく変わりつつあることから、次期総合計画の開始予定時期を積極的に遅らせることとした。現在は、しかるべきタイミングで示せるよう準備を進めている。策定スケジュールの遅れの責任については、異例の事態であると深く反省している。引き続き、成案化に向け全力を尽くしていく。

市立東松戸病院のあり方について

問 市立東松戸病院の在り方については、2019年度の達成状況に基づき、機能、規模、および経営主体について、最終的な結論を出すものとされているが、最終的な結論を伺う。

答 市立東松戸病院の在り方については、関係部課と協議の場を設け、松戸市病院運営審議会の答申にて示された計画数値目標および行動計画の達成状況の検証や病院の四つの機能と役割、直近で病院が直面する施設等の課題を整理し、多様な経営形態による今後の在り方について、継続して検討しているところである。これまでの検討経過の詳細については、令和3年3月定例会の健康福祉常任委員会において、報告したいと考えている。また議会からの再三の質問について、今定例会まで何も示すことができなかったことは、反省点である。

新焼却施設基本構想について

問 新焼却施設基本構想策定等業務において、外部委託した成果物と新焼却施設の概算費用について伺う。

答 廃棄物処理施設建設事業は、一般的に数十年に一度の事業であるため、経験が豊富なコンサルタントに委託している。本委託では、本市のごみ処理や体制

の整理、広域化の基礎調査のほか、今後の焼却施設整備の参考とするため、千葉県内の各自治体の実例、実績などについて調査研究を行った。主な成果物としては、受注業者であるコンサルタントを介し、公平中立な立場から複数のプラントメーカーに対する調査結果がある。また新焼却施設の概算費用については、広域化の検討やその後の規模など条件がそろったら、算出できるものと捉えている。

公明党

織原 正幸

第3次補正予算における地方創生臨時交付金の活用について

問 地方創生臨時交付金を活用し①自立相談支援センター相談窓口の体制強化②新生児臨時給付金の延長もしくは育児用品提供事業の実施③緊急事態宣言に伴い支給される国・県の一時支援金等の制度の対象外となる中小事業者へ市独自の支援策を講じる考えについて伺う。

答 ①自立相談支援センターの相談支援体制強化を図るため、受託先である社会福祉協議会へ相談支援員の増員を要請しており、各種交付金の活用を含め協議を進めている。②新生児臨時給付金は、本市の特別定額給付金の対象とならなかった令和2年4月28日から3年4月1日に生まれた同年の子どものこととしていることから、現時点では事業延長の予定はない。育児用品の提供事業等を含め、他の自治体の取り組みを研究していく。③中小事業者支援については、現在実施中の市内事業所実態調査の結果や新型コロナウイルス感染症拡大・収束状況、他市の参考事例等を踏まえ、今後必要な支援策を検討・実施していく。

新型コロナウイルスワクチン接種体制整備について

問 ワクチン接種体制の現状と今後想

定される接種時期について伺う。また音声自動応答（IVR）による自動コールセンターを活用する考えは。

答 集団接種に併せ個別接種も並行して実施できるよう準備を進めており、集団接種会場の確保は一定のめどが立っている。課題となる医療従事者の確保にも努めていく。本市へのワクチン配分量は現時点では不明だが、国の動向を注視し供給に合わせて実施できるよう準備を進める。コールセンターではAIチャットボット等の活用を併せ、電話がつながりにくい等の状況が生じた場合は、人員補充とともに自動コールセンターの導入も研究していきたい。

新拠点ゾーン整備および庁舎移転建て替えについて

問 新拠点ゾーン整備の目的と今行わなければならない理由、第一段階として区画整理を行う理由は、新庁舎整備にあたり特に充実すべき機能は、また両事業の推進で重視する事柄について伺う。

答 新拠点ゾーン整備は国有地を取得し、防災能力向上や松戸駅周辺の賑わいの拠点とするものである。本市が国有地の取得要望の意思を示してから6年間に経過しており、早急に主体的に計画的なまちづくりを実現することが重要と考える。土地区画整理事業により公共施設と宅地の整備を総合的・一体的に行うことで優れた都市空間の形成が可能となる。市役所機能再編では、災害発生時に被害を最小限に抑え、速やかな復旧と復興を進めるための活動拠点を防災上安全な場所に確保することが喫緊の最重要課題と考える。両事業の実施にあたっては財務体質の安定を考へながら、子どもたちの将来に負担がかからないようなまちづくりを積極的に進めていきたい。

「福祉的な視点のまちづくり」について

問 地域共生社会の理念に基づいた「福祉的な視点のまちづくり」を進める

上で必要なものと課題について伺う。

答 地域での活動の積み重ねは必要不可欠な社会的資源であると考えている。一方でそれぞれの地域の特性から、抱える課題も多様である。そのため行政が行うべき課題も福祉分野にとどまらず市内全体に関わることから、関係部署が課題を共有し、連携を強化することが喫緊の課題と認識している。

市民クラブ

末松 裕人

広域連携のあり方と課題について

問 新型コロナウイルス感染症対策では国・県・市の役割の重複や対策の相違が混乱を招いた。こうした事態には自治体間連携という視点が求められ、急場での連携が図れる体制等、危機管理的視点での広域連携が必要と考えるが見解は。

答 各自治体は迅速に独自政策を実施してきたことから、政策の広域連携には至らなかった。しかしながら感染拡大防止対策の推進には、千葉県と連携を図る必要性を十分認識していることから、松戸保健所とは頻りに協議を行いまざまな検討と意見交換を進めている。

公共施設再編整備計画について

問 公共施設再編整備における課題の本質は、将来に向け適切な市民サービスの在り方とそれに見合う施設を維持するための財源確保だと考える。計画の実行性を高めるには、施設の集約化や複合化など縦割りの組織形態では難しい取り組みの推進が必要と考えるが、それをどう成し遂げることができるのか見解を伺う。

答 公共施設の集約化や複合化を検討する場合、庁内の施設所管課と各種事業計画等との総合的な調整が不可欠であり、情報共有等を図るために「公共施設再編

整備検討委員会」や「公共施設のあり方検討プロジェクト」の活用を図りつつ取り組んでいる。

東京外かく環状道路、北千葉道路開通に伴う本市まちづくりのあり方について

問 幹線道路ネットワークとつながることを本市まちづくりにどう生かすのか。こうした契機を総合的に考えるシステムが欠けていると考えるが、本市のまちづくりに対する考え方を伺う。

答 幹線道路の効果を活用するには戦略的なまちづくりが必要であり、一担当部署の事業に捉われず、現状認識や政策の方向性等を全庁横断的に共通認識し、政策課題を解決していくことが重要と考える。外環道や北千葉道路など広域幹線道路の整備は、本市のさらなる発展を成し遂げる上で千載一遇の機会であり、その効果を全市へ波及させるため戦略的なまちづくりを検討していく。

教育行政におけるデジタル化について

問 教育においては「不易と流行」すなわち何がかわらないもので何を変えるべきかという原点を踏まえて、デジタル化時代における教育行政の在り方をしっかりと構築していただきたいと考えるが、本市の見解を伺う。

答 教育のICT化は「より良い学びを実現するための手段」と捉えており、素晴らしい面が多いが、教育の本質とは異なる面も存在する。今後ICT化による児童生徒への効果や課題等について検証するシステムを新たに模索している。

日本共産党

ミール 計恵

非正規労働者の処遇改善について

問 市役所業務を遂行するにあたり、

ジェンダー平等の観点から非正規労働者の処遇改善を図るべきと考えるが、市の見解を伺う。

答 ジェンダー平等や男女間の賃金格差は社会的な問題であり、重要な課題と認識している。会計年度任用職員制度の導入にあたっては、国からの制度マニュアルに準拠し適正な制度導入を図り、期末手当の支給や休暇制度等の整備を行った。本制度の今後の運用については、始まってまだ1年目であり、国や近隣自治体の動向を注視していきたい。

少人数学級の取り組みについて

問 小学校において国が示す35人学級については、コロナ禍を通してさらに少ない人数の学級にする考えはあるか。また中学校や高等学校へも拡大すべきと考えるが、市の見解を伺う。

答 教職員の数を増やし、少人数指導を行うことは、一人一人に行き届いた教育を行う上で重要であり、効果的であると考えている。一方、現状を鑑みると教員や施設の不足等の課題も考えられる。教職員定数の改善計画は基本的には国が主導し実施するものと考えているが、市教育委員会としても、児童生徒にとってより良い学習環境の提供やスタッフの派遣などが充実できるように、引き続き予算確保に努めていきたい。

コミュニティバス導入について

問 コミュニティバス導入に向けての課題はあるか。また交通空白地域解消の目標について伺う。

答 コミュニティバスの導入を考える上で、コミュニティバスの基本方針や役割、導入検討手順等の地域への理解の醸成、地域組織の設立や生活様式変化による利用予測等も新たな課題になると考える。また現在の交通空白地域の解消については、明確な目標は設定していないが、5年程度をかけて各地区の方向性を示し

たいと考えている。

立憲民主党

一階堂 剛

八柱駅南口駅前広場整備の今後のスケジュールについて

問 八柱駅南口駅前広場におけるバリアフリー化バスの平行停車のためのバス停改修等今後の整備スケジュールを伺う。

答 現在、交通管理者である千葉県警察本部と協議し、道路の基本的な整備計画を立案するための予備設計を実施している。今後については、令和3年度は地元町会や商店会等に事業説明を行い、道路詳細設計を予定している。4年度は整備に支障となる水道、ガス、電気等の占用企業者と移設工法等の協議・調整を図り、各占用企業者による移設工事の実施後、6年度から本市によるバリアフリー整備工事に着手し早期完成を目指す。

子ども・子育て支援について

問 年度途中の小規模保育施設整備による施設入所状況や入所保留児童数、また今後の施設整備等について考えを伺う。

答 令和2年10月に小規模保育施設が7施設整備され94人が入所し、10月時点の入所保留児童数は591人となり、元年10月時点の834人から減少した。3年度は入所状況等を踏まえながら整備し、連携施設の保育園や幼稚園における保育環境に十分留意の上、保護者の利便性にも考慮し効果的に進めていきたい。

介護保険に係る人材確保や処遇改善について

問 介護報酬が増額となるが、人材確保や処遇改善など利用者の安心に反映されるよう市はどのように考えるか。

答 令和3年度から、介護報酬が新型コロナウイルス感染症対応に伴う期間限定分も含め増額改定されることから、介護事業者には新型コロナウイルス感染症対策を図りつつ処遇改善として介護職員へ積極的に還元されることを期待している。また本市独自の人材確保策の一つとして2年度に試行を予定した表彰事業は、介護現場での新型コロナウイルスの影響から取りやめたが、介護職員への社会的評価の重要性を認識しており、対象の拡大等事業内容の再検討や実施方法を工夫し、3年度からの実施に向け準備を進めていく。

政策実現フォーラム

増田 薫

現庁舎の災害対策について

問 現庁舎周辺が浸水した場合等の、災害対策本部の設置や避難所への救援物資等の配付方法および松戸市役所交差点の浸水対策について伺う。

答 松戸市地域防災計画では、市庁舎が使用できない場合は、消防局等を災害対策本部とし、救援物資等搬送する際は、避難所へ直接物資を搬入するプッシュ型支援に加え、集配場所として松戸運動公園、南部市場、21世紀の森と広場を拠点として定めている。また松戸市役所交差点が冠水した場合は、状況に応じ手段を検討し、必要な車両の通行機能確保に努める。

国道6号柏方面から新拠点ゾーンに入る右折レーンについて

問 国道6号に右折レーンを作るために必要な行程と予想される費用を伺う。

答 令和3年度に測量を実施し、その後、地質調査、予備設計等を実施した上で、概算費用を示していきたい。

焼却施設基本構想について

問 広域化、建設延長に関して、先送りせざるを得ないのか、先送りする方が

良いと判断したのか、市の見解は。また本市で焼却する場合と他市に焼却を依頼する場合の費用について伺う。

答 令和2年4月に通知された循環型社会形成推進交付金交付要綱では、ごみ処理の広域化・施設の集約化の検討状況を市の計画に記載することを交付要件に追加改正されたことや、第10次千葉県廃棄物処理計画では、本市が広域化の検討対象として示されたことにより、新焼却施設基本構想において、引き続き広域化を検討するため、延期の判断をした。また費用は、広域化の検討やその後の規模等の条件がそろい、費用の算出ができる段階になったら示していきたい。

市民力・立憲民主党

山中 啓之

市役所本庁舎の建て替えについて

問 工期や道路浸水時の車両の通行機能確保を考慮した上で現建て替えは可能であり、事業費削減にもつながると思うが、改めて現建て替えを含め検討する考えは。また新拠点ゾーンは十分時間をかけ、本庁舎建て替えとは切り離して検討すべきではないか見解を伺う。

答 市役所機能の再編整備は、災害対応機能の強化、市民サービスの向上、行政運営の効率化、本市が目指すまちづくりの実現など、多角的な視点から検討する必要がある。立地場所は現市役所敷地と新拠点ゾーンを比較検討した結果を総合的に勘案し、新拠点ゾーンが最適と考える。新拠点ゾーンと市役所それぞれが持つ機能の相乗効果により、新たなまちづくりを計画的に実現していくことが事業を進める上で大変重要と考える。

クリーンセンターの建設について

問 クリーンセンターの広域化が示されているが、2年間の検討期間におけるロードマップについて伺う。

答 現在、ロードマップは作成できていない。1年目に相手自治体と協議を始め、従来と広域化の比較の案を作成し、その後、この案を深度化しパブリックコメントを実施することを考えている。その都度、進捗状況について議会へ報告していきたい。

いじめ問題への対応について

問 いじめの解消率の目標設置を行う考えがあるか伺う。

答 教育委員会としては、いじめの解消率の数値的な目標を設定することよりも、いじめ事案一つ一つを丁寧に扱い、当事者児童生徒の状況を注視していくことが肝要と捉えており、いじめの解消率の目標設定を行うことは考えていない。

無所属

箕輪 信矢

生活保護について

問 生活保護を受給できるにもかかわらず申請をしていない家庭への積極的なアプローチを望むが、児童生徒の環境等から制度活用が望まれる家庭を把握するには、どのような方法があるか伺う。

答 本市では平成29年度から市独自のスクールソーシャルワーク事業を開始し、「学校がプラットホーム」との認識の下スクールソーシャルワーカーは家庭の状況等を学校と共有している。また制度活用を必要と把握した際には、福祉関係部署につなげている。本事業が展開されることにより教育と福祉の連携が図られ、制度活用を必要とする家庭への支援の一助となっていると認識している。

松戸市議会表彰

令和2年度松戸市議会表彰を行いました。
この表彰は、スポーツ・学術・文化・社会活動等で、特に功績のあった個人・団体に対し、松戸市議会が表彰を行い、その功労に報いるとともに市民の郷土愛を育むことを目的としています。
※ 令和2年度の表彰式は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため執り行わず、3月1日の本会議において、受賞された皆さまを議長から紹介させていただきました。

団体表彰 文化部門 5 団体

- 市立第六中学校 管弦楽部
第9回日本学校合奏コンクール2020全国大会 グランドコンテスト 金賞
- 市立小金中学校 吹奏楽部
第26回日本管楽合奏コンテスト全国大会 中学校B部門 最優秀賞
- 市立松戸高等学校 合唱部
第12回東京国際声楽コンクール本選大会 高校生アンサンブル部門 第1位
- 千葉県立小金高等学校 吹奏楽部
第26回日本管楽合奏コンテスト全国大会 高等学校B部門 最優秀賞
- 聖徳大学附属女子中学校高等学校 書道部
第44回学芸書道全国展 最優秀団体賞

各受賞団体をたたえ記念品として盾を贈呈しました。



6月定例会の開催予定

令和3年松戸市議会6月定例会は、6月8日(火)から6月23日(水)まで、いずれも午前10時より開催する予定です。
請願・陳情は、5月28日(金)正午が提出期限です。

日程	主な内容
6月8日(火)	招集日・本会議(議案提案理由説明)
9日(水)	本会議(一般質問)
10日(木)	〃(一般質問)
11日(金)	〃(一般質問)
14日(月)	〃(一般質問・議案質疑)
16日(水)	総務財務常任委員会
17日(木)	健康福祉常任委員会
18日(金)	教育環境常任委員会
21日(月)	建設経済常任委員会
23日(水)	本会議(議案等の採決)

議会傍聴について

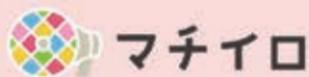
※このほか随時、委員会が開催される場合があります。また開催予定が変更となる場合もありますので、ホームページ等でご確認ください。
定例会の傍聴についてはお問い合わせいただくかホームページでご確認ください。

●問い合わせ先 市議会事務局庶務課
TEL 047(366)7381

人事案件

教育委員会教育長・教育委員会委員の任命、人権擁護委員候補者の推薦および固定資産評価員の選任に同意しました。(敬称略)

- 教育委員会教育長 伊藤 純一
- 教育委員会委員 中西 茂
- 人権擁護委員候補者 森 めぐみ、藪 田 京子
- 固定資産評価員 大塚 滋



スマートフォン・タブレット用アプリ「マチイロ」を利用して議会だよりを配信しています。アプリは無料でダウンロードできます。詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

松戸市議会の情報をホームページで公開しています

本会議の様子は「インターネット議会中継」でご覧いただけます。

松戸市議会 検索



議会中継

声の議会だよりをご利用ください

松戸朗読奉仕会の協力を得て視覚障害の方を対象に、議会だよりを朗読した録音物を提供しています。詳細は下記までお問い合わせください。

●問い合わせ先 松戸市障害者福祉センター(ふれあい22内)
TEL 047(383)7111

編集の窓

令和3年3月定例会が開催される中、東日本大震災の発生から10年の節目を迎えました。一日も早い復興を祈念すると共に、被災された方々とそのご家族の皆さまに心よりお悔みとお見舞いを申し上げます。

近年、地震や台風等の自然災害が頻発しており、防災・減災の備えがさらに必要となってきました。また長引く新型コロナウイルス感染症拡大への防止は、喫緊の課題であります。市民の皆さまの命と暮らしを守るため、市議会として、全力で取り組んでまいります。さて本年は大河ドラマ「青天を衝け」が放映され、渋沢栄一がパリ万国博覧会で随行した戸定邸のあるじ・徳川昭武に光が当たります。激動の時代を力強く生き抜き、新しい時代を迎えた人々の歴史に学びたいと思います。

広報委員会

- 委員長 鈴木 智明
- 副委員長 西野 澄
- 委員 中村 典子、中野 香澄、戸張 友子、D 哲 I、篠田 L、大塚 弥、山原 正、織原 幸、渋谷 剛、市川 恵一

※委員の変更がありました。

次回発行予定は8月1日(日)です